

2016 年 5 月 21 日 (土)
大佐渡山地縦走、金北山 (1,172 m)

～Report by 高橋(雄)～

小野寺さん企画による佐渡ツアー二日目。いよいよメインイベントの大佐渡山地縦走。

ドンデン山荘(934m)～金北山(1,172m)～白雲台(850m)までの 14km、高低差 400m(累積標高差+955m、-1000m)のトレッキングだ。ちなみに、金北山は佐渡の最高峰で、自衛隊のレーダーなどが設置されている。



5:00

ドンデン山荘から見た日の出。
今日もいい天気だ！



6:10

朝食。





6:55

支度を調べて山荘の玄関で 10 人集合写真



恒例の岡部さんによる準備運動をして



7:03

金北山目指してスタート。

視界は良好。金北山山頂の建物を
光学 30 倍ズームがみごとにとらえた。↓



これから歩く大佐渡山脈の稜線。写真右側から緩いアップダウンを繰り返しながら金北山へと向かう。

ドンデン山荘からは、縦走路入り口までの舗装道路を 20 分ほど下る。

道ばたで見かけた花



←ウワミズザクラ ↓ヤマオダマキ



7:22

金北山縦走路入口。ここから山道となる。



縦走路入り口にはキレイなバイオトイレが設置されていた。



縦走路に入ると、さっそく山道の脇に花の群生が咲く、フラワーロードが始まった。
まず最初はニリンソウ。でもよく見ると一本の茎に花が3つ咲いている物が多い。サンリンソウ？



次々と現れる花を愛でつつ、撮っては歩き、撮っては歩く。



ズダヤクシュ



タニウツギ



ツボスミレ



クルマバソウ



緑が濃い。
新鮮な酸素を吸いながらスタスタ歩く。



7:38

「アオネバ十字路」



次の「マトネ」へ 2.2km

アオネバ十字路には見事なシラネアオイの群生が。



ユキザサ



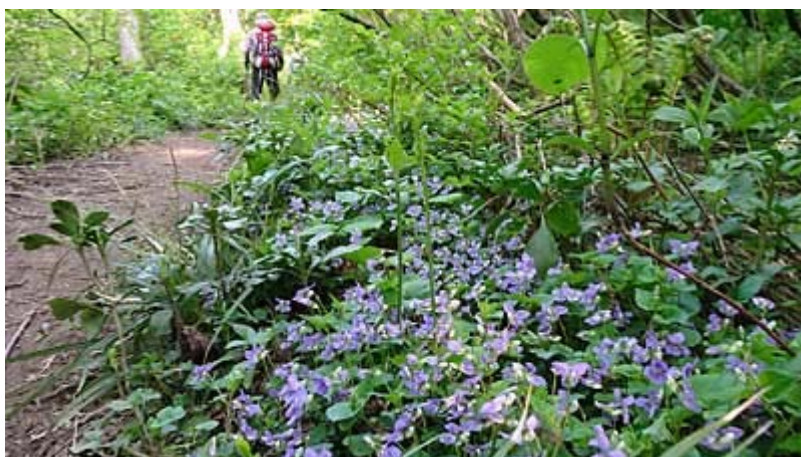
オドリコソウ



ホウチャクソウ



コンロンソウ



「マトネ」へは上り坂となる。
スマレの群生に励まされながら登る



ヒトリシズカ



オオイワカガミ



オオイワカガミの蕾



エンレイソウ



登りの途中で一休み。
布目さんからブドウの差し入れがウレシイ。



坂を登り切ると、そこは「マトネ」
(標高 938m)。8:24
レンゲツツジがお出迎え。



レンゲツツジと目指す金北山を入れてパチリ。



「マトネ」からは左右に日本海を見ながらの尾根歩きとなる。



レンゲツツジのみごとな群落があったので、今来た「マトネ」方向を振り返ってまたパチリ。



ウラジロヨウラク



フッキソウ



オオイワカガミとスミレの競演



尾根道はザレているところが多く、
滑って尻餅をつく場面も。
慎重に下る。



エチゴキジムシロ咲く草原、「真砂の芝生」



10:02
「いもり平」
予定より 20 分早い。



イチゴの仲間？



ヒメスミレ



？



次のピークを目指す。

タンポポの仲間？↓



10:47

「天狗の休み場」

予定では 11:05 で、ここでお昼にするところだが、まだ早いので先へ進む。



またまたシラネアオイ道。



チゴユリ



ユキザサ



ムラサキヤシオツツジ

標高が 1,000m 近辺ではツツジ、タムシバ、サクラ、ムシカリなどが咲いていた。



タムシバ



サクラ



ムシカリ



←オオイワカガミ道



11:33 「役の行者」

行者の石蔵と一緒に昼食。どんでん山荘弁当はパリパリ海苔付きのおにぎり。



ミヤマシキミ



ショウジョウバカマ



スマレ (紫)



スマレ (白)

昼食後はあと 40 分で金北山頂の予定。まずは「鏡池」。



←水辺にはカエルの卵がびっしり。
ほとりのハウチワカエデの花↓



次は「あやめ池」
花は咲いていなかったが人間で代用。
いずれアヤメかカキツバタ？



そして山頂への最後の急登。
写真中央のヤマザクラ↓



標高 1,100m 近辺ではカタクリがまだきれいに咲いていた。





タムシバ



スマイレとキジムシロ



サクラ



またまたまたシラネアオイ道



そして建物が見えてきて



12:49 ついに金北山山頂！ すばらしい大パノラマだ！ 全員、よく頑張った！





山頂の神社付近にはトイレがなく、ちょっと
おりたところにあった。.



下りの始まりはタンポポ道。



自衛隊管理道路は半分舗装で半分砂利道。



レーダー類がいろいろ設置されていた。





またまたまたまたシラネアオイ道。
これでもか！っという感じ。
花の大きさは携帯電話と同じ。



14:25
無事にゴールの白雲台到着！
予定より 25 分早い。



ばんざーい！

14:35 タクシーとジャンボタクシーに分乗して大佐渡スカイラインを走り、温泉に向かう。

タクシーの運転手さん（おけさタクシーの倉本さん）はいろいろ話してくれた。

「昔、佐渡の金堀人夫が帰りに寄る茶屋があった。その茶屋のおやじは人夫が帰る時にワラジをただで新しい物と交換してあげた。もちろん人夫は喜んだが、おやじは人夫のワラジから金を採取して大儲けした。」とか、
「今でも金とはれるが、採算があわない。1万円の金を得るコストは1万5千円ぐらい。金が値上がりして2万円ぐらいにでもなればまた採掘するだろう。」とか、

「今日はちっちゃい車だからうれしくてしょうがない。いつもは大型バスで、道が狭い上に馬力不足で満員だと上り坂で止まってしまいそうで、よいしょよいしょと言いながら運転してる。」とか、面白かった。



15:20

温泉施設「ワイドブルーあいかわ」着。



約 1 時間、たーっぷり温泉に浸かってさっぱりし、恒例のカンパイ！

この施設は温水プールなどもあるが、食事の設備はなく、缶ビールは向かいのコンビニで調達。



今夜の宿、民宿「七浦荘」から温泉まで送迎バスに来てもらい、

17:08 民宿着。

キャッチフレーズは「夕日と漁火の宿」。



18:10

夕食。我々は特別待遇で、大広間ではなく、夕日の見える部屋を用意してくれた。



民宿ならではの豪華な料理。その日獲れためずらしい食材を出してくれる。
 この日はさざえの壺焼き、かわはぎの白子の茶碗蒸し、肝の小鉢などなど。肝はまったりしていて、ごはんにあえて食べると美味。
 もちろんご飯はおかずなしでも食べられるコシヒカリ。



名物の「夕日ショー」。



今朝はどんでん山荘の日の出で始まり、ここの日の入りで終わることができた。
 佐渡の島だから味わえる贅沢だろう。



暮れたあとも、たっぷりの料理を堪能しながら、宴会は続く。お酒は佐渡の真野鶴。
 本日の聞きしに勝る、花だらけの佐渡トレッキングと佐渡の海の幸、美酒、愉快的メンバーに酔いしれました。
 それにつけてもみんなの無事と好天、いろいろと企画段取りしてくれた小野寺さんに感謝。
 満足しきっての幸せな熟睡となりました。

以上。